

ぐるっと SABAE シェアサイクル実証事業

現 状

現在、レンタサイクルは道の駅に 5 台、久保田酒店(鯖江駅前)に 3 台、神明苑に 2 台の計 10 台を配置し、利用料金は、4 時間以内 200 円、4 時間以上 500 円とし貸出時間は 9 時～17 時で運用している。なお、冬季間(12 月～2 月)は運用を休止している。自転車の貸出は、各施設での対面手続きが必要であるため、貸出・返却場所や利用時間に制約が生じている。また、レンタサイクル事業の開始から 12 年が経過し、自転車の経年劣化が進み、修繕回数が増加している。利用台数についても、R6 年度は 443 台であったが、R7 年度は約 330 台にとどまり、年々減少傾向にある。利用者のサービス向上のため、各施設間で相互乗り捨てを可能としているが、利用状況によって自転車の配置に偏りが生じた場合は、自転車の再配置作業を行う必要がある。また、故障等の対応も職員の業務負担につながっている。

実証事業(案)

産業観光の推進に向けた二次交通手段としての有効性を検証する実証事業として、鯖江エリア(鯖江駅)・神明エリア(神明駅)・河和田エリア(うるしの里会館)に LUUP(電動アシスト自転車)を導入する。利用方法はスマホアプリから行うことで、貸出・返却時間や窓口対応に制約のない非対面式とし、利便性の向上と産業観光施設や飲食店等の回遊性を図る。

予 算

運営費用：12,200 千円【交付金 9,150 千円、利用料金 200 千円、一般財源 2,850 千円】

【内訳】シェアサイクル費用：9,790 千円

初期導入費用(アプリ設定費、ポート備品費)：880 千円

自転車レンタル料(4 月～11 月、3 月)：8,910 千円

委託料：2,410 千円

設置費用：1,320 千円、故障時出張費：330 千円、全体管理費：150 千円、自動車リース料(自転車運搬用)：384 千円、アンケート調査費：110 千円、消耗品費：116 千円

自転車・ポート設置場所(案)

自転車 40 台とポート 22 ヶ所を下記エリアに設置する。

【鯖江エリア：自転車 22 台、ポート 6 ヶ所】

鯖江駅：10 台(駅西 7 台、駅東 3 台)、道の駅西山公園：6 台、商工会議所：2 台、めがねミュージアム：2 台、サンドームふくい：2 台

【神明エリア：自転車 8 台、ポート 10 ヶ所】

神明駅：5 台、北鯖江駅：3 台、眼鏡会社 8 社：ポート設置(BOSTON CLUB、SUNOPTICAL&Gallery、佐々木セルロイド工業所、乾レンズ、オプティックストアグラスガーデン、ペーパーグラス、キッソオ)

【河和田エリア：自転車 10 台、ポート 6 ヶ所】

うるしの里会館：8 台、漆器工房 2 社：各 1 台(TSUGI、Hacoa)漆器工房 3 社：ポート設置(土直漆器、漆琳堂、サンユウ)

導入エリア(案)

【鯖江エリア 自転車 22 台、ポート 6 ヶ所】



【神明エリア 自転車 8 台、ポート 10 ヶ所】






【河和田エリア 自転車 10 台、ポート 6 ヶ所】



他市の導入状況

	鯖江市 (予定)	福井市	敦賀市
導入シェアサイクル	LUUP	ドコモシェアサイクル	ドコモシェアサイクル
料金体系	30分ごとに100円を追加	30分ごとに110円を追加 1日パス 1,650円	最初の60分 220円 以後 30分ごとに110円を追加 1日パス 1,650円
台数	40台	102台	60台
ポート数	23ヶ所	28ヶ所	19ヶ所
利用時間	24時間	24時間	5時～24時

大手シェアサイクルサービスの比較

	運用時間	利用料金	車両の保有形態	自転車の再配置	冬季間の保管	利用方法	メリット	デメリット	40台導入費用【ランニングコスト】
 <p>LUUP</p>	24時間365日	料金の自由設定可能 上限は3時間980円、 12時間2,480円のみ 設定可能	リース	不要	LUUPが回収・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリから車両のQRコードを読み取り、返却先を決定する。(途中変更可能) ・返却時は、アプリ上でライド終了をタップし施錠後、ポートに返却した車両の写真を送信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間利用の場合レンタサイクルより安価である ・ポートの設置が容易(特殊テープを地面に貼る) ・ポートを多く設置できる ・利用終了後の返却ポートの予約を必須とするため、ポートに自転車が溢れることがない ・自転車が軽量で運搬しやすい ・冬季間は自転車を保管しなくてよい(LUUPが回収) 	<ul style="list-style-type: none"> ・決済方法がクレジット、デビットカード、プリペイトカードのみ ・自転車がコンパクトであり長距離移動向きではない 	12,200千円 【11,200千円】 *利用料の50%は事業者の収入 *R7おおい町が期間限定で実証実験
 <p>HELLO CYCLING</p>		30分160円から設定可能 上限金額設定可能	買取			必要	市で回収・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリから車両のQRコードを読み取るか、アプリに通知された番号を操作パネルに打ち込む。 ・返却時は、施錠後車両のRETURNボタンを長押しするか、アプリ上の返却ボタンをタップする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間利用の場合レンタサイクルより安価である ・決済方法がクレジットの他、スマホのキャリア決済やPayPayも使える ・SIMカードが搭載されているため、移動軌跡がデータ化できる ・利用終了後の返却ポートの予約を必須とするため、ポートに自転車が溢れることがない
 <p>ドコモシェアサイクル</p>		料金の自由設定可能 1日パスの設定可能	リースor買取	必要	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリから車両のQRコードを読み取るか、登録した交通系ICカードをカードリーダーにかざす。 ・返却時は、施錠後操作パネルの返却ボタンを押す。 			<ul style="list-style-type: none"> ・短時間利用の場合レンタサイクルより安価である ・決済方法がクレジットの他、交通系ICも利用できる ・提供エリアごとのHPが整備されており、利用者にわかりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・返却場所の指定がないため、ポートに自転車が溢れてしまう危険性がある ・日中および夜間の自転車再配置や整頓が必要 ・ポートに自転車留めを設置する必要がある ・冬季間の保管場所が必要
現状のレンタサイクルを継続	9時~17時 施設の定休日は利用不可	4時間以内：200円 4時間以上：500円	買取	必要	市で回収・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・有人施設での対面手続きが必要(申請書の記入、料金の支払い) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コストの低減 ・長時間利用する場合は安価となる ・スマホやアプリがなくても利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理面を考慮すると現状の台数程度 ・貸出、返却、料金徴収等の負担が大きい ・PRが不十分となる 	10台更新費用 2,000千円 【300千円】